

青森大学むつキャンパス 畑中村長が特別講義！



大学生へ向けて話す畑中村長



ワークショップに取り組む学生たち



学生たちと記念撮影

5月12日、青森大学むつキャンパスにおいて、村と同大学が締結している包括連携協定の一環として、畑中村長による特別講義が行われました。この講義は、地域活性化の手法や地方創生について学ぶ機会として、畑中村長が特別講師を務め、村の取り組みや自身の経験を交えながら、学生に向けて話をしました。テーマを「！（エクスクラメーションマーク）」とし、感情の強調や危険・警告を示す注意喚起の記号「！」のように、人生は喜び・怒り・驚きの連続であり、人生の分岐点は、ライフステージの変化や日々の小さな出来事の中にあると伝えました。

また、学生たちがこれまでの自身の経験を振り返り、地域で実践してみたいことを書き出すワークショップを行い、アイデアを共有しました。ワークショップでは「小中学生と大学生が交流する機会をつくりたい」や「東通村の特産品を活用した商品開発をしたい」等、さまざまなアイデアが挙げられました。

最後に畑中村長は、学生たちへ向けて「今を大切にし、家族や友人、そして自分自身を大切にしてほしい」とメッセージを送りました。

「りんご娘 はるか夢スタジアムライブ（弘前市）で東通村の魅力をPR！



市町村PRコーナーの様子



市町村PRステージの様子



ライブに駆けつけた「かんだちくん」

5月16日、はるか夢球場（弘前市）にて、ご当地アイドルグループ・りんご娘の初となる1万人規模のワンマンライブ「りんご娘 はるか夢スタジアムライブ」が開催されました。

このライブは「Dream of Diamond 輝け！！ 10,000人のペンライト！！ ～40市町村の魅力大発見～」と題し、当日はかんだちくんをはじめ各市町村のゆるキャラが応援に駆けつけ、会場を大いに盛り上げました。

また、スタジアム外周のエリアでは、各市町村のPRタイムが設けられ、東通村の特産品「東通牛」や今月開催予定の「灯台ワールドサミット」等、東通村の魅力をPRしました。